

■「初夏の鶴見緑地、樹の花の魅力を語ろう！」

日時／平成 26 年 6 月 14 日(土) 10:00~12:30

場所／鶴見緑地公園 天候／晴れ

スタッフ／5 名

参加者／大人 2 名、子供 1 名 計 3 名

観察内容／1 週間前の下見の時には、しとしとと雨が降っていましたが、観察会当日は梅雨の中休みの晴天に恵まれました。まず、噴水の北側にはザクロの花がたくさん咲いていました。秋には実がなっているでしょうか？大池には今年もコアジサシが渡ってきていました。次に、中央ゲートから公園に入ったところにあるコナラの雄花を観察。その後、葉っぱを捕虫網ですくってみると、なんとノコギリ



クワガタのメスが入りました。足元を見るとコクワガタのオスの頭部も落ちていました。なお、コクワガタは後刻、カエデの木で立派なオスを採集しました。少し離れたところにあるホザキナナカマドはやや盛りを過ぎた感がありましたが、コアオハナムグリが花に首を突っ込んでいました。アジサイにはシロテンハナムグリやアオハナムグリ、ホシミスジも来ていました。道すがらモンシロチョウとモンキチョウがつかい行動をしているのを見つけました。天気がいいので浮かれて勘違い

しているのだと思いましたが、モンキチョウのメスには白い個体がいるようで、勘違いしていたのではなさそうです。自然体験園のそばで、コノテガシワの花を観察。球果はよく目立ちますが、花をじっくり観察する機会は滅多にありません。シヤアラカシの花は終わっていましたが、雌花の跡に小さなドングリの赤ちゃんができていました。風車の丘の東側では、ボダイジュとシナノキの花を観察。参加者一同花序の柄にある苞葉に驚かれた様子でした。また、ヤブガラシには多くのアオスジアゲハが吸蜜にやってきていました。



最後に大池の近くで、参加者の感想を聞きました。植物ではアジサイ、昆虫では色々な種類のトンボが一番印象に残ったとのことでした。



【観察した主なもの(文中記載以外のもの)】

樹木の花:ナギ

鳥:カルガモ、アオサギ

昆虫:ナミアゲハ、ベニシジミ、ムラサキシジミ、

ミツバチ、クマバチ、フタモンアシナガバチ、

コシアキトンボ、シオカラトンボ、台湾ウチワヤ

ンマ、アオモンイトトンボ、ドウガネブイブイ、ナミ

テントウ、ナナホシテントウ、ヨコヅナサシガメ、

カマキリ・キリギリス・ショウリョウバッタの幼虫

爬虫類:クサガメ